

令和8年度

北海道軟式野球連盟十勝支部

市町村連盟・協会連絡会議

令和8年4月5日(日)午後1時30分

明治北海道十勝オーバル2F 研修室

北海道軟式野球連盟十勝支部 市町村連盟・協会連絡会議次第

日 時 令和8年4月5日(日)午後1時30分
場 所 明治北海道十勝オーバル2F 研修室

1 開 会

2 支部長挨拶

3 自己紹介

4 議 事

(1)報告連絡事項(十勝支部関係)

(2) // (審判部関係)

(3)高円宮賜杯及び全道少年の予選開催地への負担金の内訳(根拠)について

(4)その他

5 質疑・意見交換

6 閉 会

(令和8・9年度) 北海道軟式野球連盟 十勝支部 役員名簿

参 与	中山 博志
〃	高松 三郎
〃	塚越 毅

監 事	三間 武
〃	常通 直人

道連評議員	佐藤 季之

道連技術員	小寺 誠

事務局長	岡戸 綾
事務局次長	神谷 祐希
局 員	大橋 堅次
〃	久保 亮太
〃	大石 浩二
会 計	神谷 祐希

支部長	鈴木 正孝
副支部長	加藤 善一
〃	高島 敏彦
〃	佐々木 晴彦
〃	春日井 秀吉

理事長	小川 敏也
副理事長	野村 勇
〃	鈴木 国彦
理 事	高井 淳行
〃	榎本 尚之
〃	伊藤 博喜
〃	喜多 昭裕
〃	古田 一恵
〃	岡戸 綾

〃 (西部)	西山 知宏
〃 (西部)	齋藤 和也
〃 (南部)	小寺 誠
〃 (南部)	辻本 博
〃 (東部)	久保 亮太
〃 (東部)	綱島 佑汰
〃 (北部)	時光 宏三
〃 (北部)	黒川 和章
〃 (東北部)	大橋 堅次
〃 (一般)	吉田 英史
〃 (一般)	女ヶ澤 圭吾
〃 (一般)	大石 浩二
〃 (一般)	神谷 祐希
〃 (学童)	佐藤 哲博
〃 (学童)	藤川 淳
〃 (少年)	杉村 嘉朗
〃 (少年)	金井 啓斗
〃 (支部長推薦)	前田 勇
〃 (支部長推薦)	佐藤 季之

総務企画部長	小川 敏也
総務企画副部長	野村 勇
部 員	榎本 尚之
〃	喜多 昭裕
〃	西山 知宏
〃	齋藤 和也
〃	小寺 誠
〃	時光 宏三
〃	吉田 英史
〃	女ヶ澤 圭吾
〃 (学童担当)	鈴木 国彦
〃	佐藤 哲弘
〃	伊藤 博喜
〃	藤川 淳
〃 (少年担当)	杉村 嘉朗
〃	金井 啓斗

審判部長	高島 敏彦
審判副部長	佐藤 季之
幹 事	前田 勇
〃	黒川 和章
〃	高井 淳行
〃	辻本 博
〃	綱島 佑汰
アナウンス部	古田 一恵

技術委員長	小寺 誠
技術副委員長	佐藤 季之
技術委員	鈴木 国彦
〃	加藤 和博
〃	高井 淳行
〃	黒川 和章
〃	西野 孝典
〃	杉村 剛美
〃	我妻 修一
〃	相馬 謙一郎
〃	半田 健
〃	長瀬 裕臣
相談役	小川 敏也
〃	前田 勇

令和 7 年度 北海道軟式野球連盟十勝支部事務報告

1 月	1 1 日	道軟連審判部・技術員合同会議	札幌市
2 月	2 日	令和 7 年度会計監査実施	帯広の森スポーツセンター
	1 5 日	道軟連理事会	札幌市
	2 2 日	道東ブロック理事会	釧路市
3 月	2 日	第 1 回支部理事会	明治十勝オーバル会議室
	8 日	道軟連理事会・定期総会	札幌市
	9 日	支部定期総会	帯広市総合体育館会議室
4 月	5 日～6 日	道軟連審判部・技術員合同会議	札幌市
	6 日	市町村連盟・協会連絡会議	帯広の森市民プール会議室
	1 9 日	支部技術委員会	すずきや
	2 4 日	事務所・球場開き	平和・伏古別公園球場
	2 5 日～2 9 日	丸山杯受付	帯広の森平和球場
	2 6 日	道東ブロック連絡協議会	根室市
	2 7 日	道東ブロック審判講習会	〃
5 月	1 日	丸山杯兼支部長杯監督会議	帯広の森市民プール会議室
	3 日	南町球場設備清掃整備	
	6 日	十勝支部審判講習会	帯広の森平和球場
	7 日	丸山杯争奪野球大会開幕	南町球場
	1 7 日～1 8 日	北海道ブロック審判講習会	岩見沢市
10 月	1 1 日～1 2 日	道東ブロック審判技術員研修会	網走市
	〃 ～ 〃	北海道ブロック放送員講習会	旭川市
	1 8 日	道軟連審判部・技術委員合同会議	札幌市
	2 6 日	南町球場設備清掃整備	
11 月	2 日	道軟連公認審判試験	帯広市市民プール会議室
	1 5 日	道軟連理事会	札幌市
	1 6 日	支部理事長連絡会議	〃
	2 2 日	支部技術委員会	すずきや
	3 0 日	第 2 回支部理事会	帯広市市民プール会議室

北海道軟式野球連盟十勝支部 市町村連盟・協会連絡会議資料

報告連絡事項（十勝支部関係）

1. 令和7年度 北海道軟式野球連盟十勝支部事務報告について。（報告資料1）
2. 令和8年度 全国・全道大会スケジュールについて。（報告資料2）
3. 令和8年度 北海道軟式野球連盟十勝支部事業計画について。（報告資料3）
4. 学童大会の開催について。（別添学童資料参照）

A) 高円宮賜杯兼全道スポーツ少年団十勝支部予選について

高円宮賜杯は十勝支部全チームの中から優勝したチームの出場を予定している。但し、出場チームは全道大会の重複出場が規制されることから準優勝チームを全道スポーツ少年団大会、第三位チームをファイターズジュニア王座決定戦、第四位チームをホクレン旗大会（第1代表）に出場させる。

（代表チームの選考方法）

5月6日（水）に抽選を行い、4ブロック・トーナメント方式により優勝チームを決定する。更にブロック優勝4チームで決勝トーナメント（帯広市）を行い順位によって代表とする。今年度も開会式を行わず、1回戦からブロック代表決定戦までを管内（帯広市4、南部2、北部2）の8会場で行うこととする。

B) 全道少年十勝支部予選について

全道少年十勝支部予選も十勝支部全チームの中から優勝したチームの出場を予定している。但し、上記A) 予選大会において優勝、準優勝、第三位、第四位となった4チームはこの大会には出場できないものとする。

（代表チームの選考方法）

6月14日（日）に抽選を行い、管内4ブロック（7球場）（帯広市2、東部2、西部2、東北部1）でトーナメント方式により優勝・準優勝チームを決定する。更に4チームで決勝トーナメント（帯広市）を行い優勝チーム（全道少年野球大会）、準優勝チーム（ホクレン旗大会第2代表）、第三・四位チーム（道東ブロック少年野球交流大会2チーム）を支部代表として選考する。

- ・全日本学童軟式野球北海道大会（開催地 稚内支部）
- ・全道スポーツ少年団大会スタルヒン杯（開催地 旭川市）
- ・ファイターズジュニア王座決定戦（開催地 北広島市）

- ・全道少年野球大会（開催地 札幌市）
- ・ホクレン旗争奪北海道少年軟式野球選手権大会（開催地 札幌市）
- ・道東ブロック少年野球交流大会（開催地 釧路市・厚岸町）

※大会に出場するチームは必ず支部に登録してください。

※大会の結果については支部に速やかに報告してください。

5. 北海道軟式野球連盟慶弔規定について。

◎慶弔（別紙資料1）により速やかに報告してください。

6. 審判登録料及び各種大会参加費の額の確認と納入について。（別紙資料2）

◎令和8年度の市町村負担金及び審判登録料については6月末までに納入を完了して下さい。

*市町村負担金の納付先

振込口座 帯広信用金庫 中央支店

口座番号 普通預金 1245957

口座名 北海道軟式野球連盟十勝支部 支部長 鈴木正孝

*審判登録費・規則書等の納付先

振込口座 帯広信用金庫 中央支店

口座番号 普通預金 1245965

口座名 帯広野球審判協会 会長 加藤善一

報告連絡事項（審判部関係）

1. 支部審判講習会について（審判資料）

開催日時 5月6日（祝水）午前9：30～

場所 座学・帯広の森コミセン 実技・帯広の森平和球場

*雨天の場合はスパーク帯広（上履き持参）

本日配布の参加者名簿にて申し込むこと。

2. 2026年野球規則及び2026年競技者必携の改正がありました。（審判資料2）

（主な改正項目は、1の審判講習会で伝達）

3. その他

トップインターナショナル(株)取扱いの物品購入に当たっては、各市町村連盟（協会）から直接発注願います。（代金は納入後1か月以内に支払い）その他の商社で取り扱っている物品の購入については道連経由で発注します。

高円宮賜杯及び全道少年の予選開催地への負担金の内訳（根拠）について

① 高円宮賜杯	試合数	8試合	
	審判料	1試合3人制	$1,500 \times 3 = 4,500$ 円
			$8 \text{ 試合} \times 4,500 = \underline{36,000}$ 円
	弁当代	1日審判一人2試合として…	
		1日目5人 2日目5人 3日目3人+事務局1人	
		計14人分	$\times @800$ 円 = $\underline{11,200}$ 円
	その他	飲み物代等	$\underline{7,800}$ 円
			<u>合計</u> $\underline{55,000}$ 円
② 全道少年	試合数	5試合	
	審判料	1試合3人制	$1,500 \times 3 = 4,500$ 円
			$5 \text{ 試合} \times 4,500 = \underline{22,500}$ 円
	弁当代	1日審判一人2試合として…	
		1日目3人 2日目3人 3日目3人+事務局1人	
		計10人分	$\times @800$ 円 = $\underline{8,000}$ 円
	その他	飲み物代等	$\underline{7,500}$ 円
			<u>合計</u> $\underline{38,000}$ 円

令和7年 十勝支部成績

大会名	成績	チーム名	全道成績	全国成績	備考
丸山杯兼支部長杯	優勝	まんぼうクラブ			
	準優勝	ミスターラック			
	第3位	御影BC tobachi			
高円宮支部予選	優勝	NEXUS BBC	二回戦敗退		
	準優勝	札幌ライオンズ			
	第3位	中札幌パワーズ			
	第4位	啓北北栄ドジャース			
全道少年支部大会	優勝	芽室ジャガーズ	準々決勝敗退		
	準優勝	木野東ブルーサンダース			
	第3位	大空ジャイアンツ			
	第4位	柏オクス			
NPBガールストーナメント	代表	とかちスマイルレインボー	一回戦敗退		
全日本中学女子道大会	代表	Gratias Wish BC	優勝	二回戦敗退	
全道中学選手権支部予選	代表	おんおーるBBC	優勝		
国スポ支部予選	優勝	六花亭	優勝	二回戦敗退	
	準優勝	帯広市役所			
スポーツマスターズ	優勝	後楽園マスターズ	一回戦敗退		
	準優勝	まんぼうクラブ			
天皇賜杯支部予選	優勝	六花亭	優勝	二回戦敗退	
	準優勝	タケシマススポーツ			
知事杯兼北海道選抜	第1代表	六花亭	優勝	準優勝	
	第2代表	旭山倶楽部	二回戦敗退		
	第3代表	芽室町役場			
全日本少年支部予選	代表	足寄、本別、勇足、陸別中学校	準決勝敗退		
高松宮賜杯1部支部予選	優勝	タケシマススポーツ	優勝	二回戦敗退	
	準優勝	帯広信用金庫			
高松宮賜杯2部支部予選	優勝	六花亭マルセイエズ	優勝	準々決勝敗退	
	準優勝	SIKAOI GT			
東日本1部支部予選	優勝	タケシマススポーツ	優勝		
	準優勝	後楽園			
東日本2部支部予選	優勝	六花亭マルセイエズ	優勝		
	準優勝	ミスターラック			
全日本シニア	優勝	TOKACHI	一回戦敗退		
	準優勝	GG FIGHTERS			
第3回帯広電子杯	優勝	株式会社SWATT			
	準優勝	帯広商運株式会社			
	第3位	帯広信用金庫			
		ミスターラック			

2026年度 北海道大会及び全国大会日程（予定）

（2026.11.16現在）

大会名	主管支部	開催地	会期	締切	抽選	全国大会				
						代表チーム	大会名	会期	開催地	
天皇賜杯 第81回全日本軟式野球大会	南	室蘭 登別市	7/4(土) ～7/6(月)	6/23 (火)	6/24 (水)	南優勝	2	天皇賜杯	9/18(金) ～9/23(水)	奈良県
	北	遠軽 湧別町	7/4(土) ～7/6(月)	6/23 (火)	6/24 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第70回全日本軟式野球大会 (1部)	南	千歳 北広島市 恵庭市	7/18(土) ～7/20(月)	7/7 (火)	7/8 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (1部)	9/26(土) ～9/28(月)	三重県
	北	十勝 帯広市	7/11(土) ～7/13(月)	6/30 (火)	7/1 (水)	北優勝				
高松宮賜杯 第70回全日本軟式野球大会 (2部)	南	千歳 千歳市	7/18(土) ～7/20(月)	7/7 (火)	7/8 (水)	南優勝	2	高松宮賜杯 (2部)	9/12(土) ～9/14(月)	山形県
	北	十勝 帯広市 芽室町	7/11(土) ～7/13(月)	6/30 (火)	7/1 (水)	北優勝				
第80回国民スポーツ大会 青の煌めきあおもり国スポ2026北 海道ブロック予選会	網走	網走市 大空町 小清水町	8/1(土) ～8/3(月)	7/21 (火)	7/22 (水)	優勝	1	第80回国スポ	10/11(日) ～10/14(水)	青森県
日本スポーツマスターズ 2026軟式野球競技	南	石狩 石狩市 江別市	7/25(土) ～7/27(月)	7/14 (火)	7/15 (水)	南優勝 北優勝	2	日本スポーツマ スターズ	9/19(金) ～9/21(月)	石川県
	北	留萌 留萌市 小平町	7/25(土) ～7/27(月)	7/14 (火)	7/15 (水)	南準優勝				
第49回東日本軟式野球 北海道大会(1部)	南	西胆振 伊達市	9/5(土) ～9/7(月)	8/25 (火)	8/26 (水)	南優勝	2	※ 第48回東日本 (1部)	6/6(土) ～6/8(月)	千葉県
	北	北見 北見市	9/12(土) ～9/14(月)	9/1 (水)	9/2 (水)	北優勝				
第49回東日本軟式野球 北海道大会(2部)	南	室蘭 登別市	9/12(土) ～9/14(月)	9/1 (火)	9/2 (水)	南優勝	2	※ 第48回東日本 (2部)	5/23(土) ～5/25(月)	岐阜県
	北	北見 訓子府町 置戸町	9/12(土) ～9/14(月)	9/1 (火)	9/2 (水)	北優勝				
北海道知事杯 第26回北海道軟式野球選抜選手 権大会	苫小牧	苫小牧市	8/29(土) ～8/31(月)	8/18 (火)	8/19 (水)	優勝	1	水戸市長旗東 日本選手権	10/30(金) ～11/3(火)	茨城県
高円宮賜杯 第46回全日本学童軟式野球 大会 マクドナルド・トーナメント	南	日高 新ひだか町	6/20(土) ～6/22(月)	6/9 (火)	5/13 (水)	南優勝	1	高円宮賜杯	8/7(金) ～8/13(木)	愛媛県
						南準優勝	1	阿波おどりカッ プ	8/5(水) ～8/9(日)	徳島県
	北	稚内 稚内市	6/20(土) ～6/22(月)	6/9 (火)	5/13 (水)	北優勝	1	高円宮賜杯	8/7(金) ～8/13(木)	愛媛県
						北準優勝	1	高野山旗	未定	和歌山 県
第55回全道少年軟式野球大会	札幌	札幌市	8/8(土) ～8/13(木)	7/28 (火)	7/1 (水)					
第43回全日本少年軟式野球北 海道大会	紋別	紋別市 興部町 滝上町 雄武町	7/18(土) ～7/20(月)	7/7 (火)	6/10 (水)	優勝	1	全日本少年	8/9(日) ～8/14(金)	神奈川県
						準優勝	1	水戸市長旗東 日本少年	未定	茨城県
文部科学大臣杯 第18回全日本少年春季軟式野 球大会 名鉄観光トーナメント	南	後志 黒松内町 蘭越町	9/19(土) ～9/21(月)	9/8 (火)	8/5 (水)	南優勝	2	※ 第17回少年春 季大会	3/20(金) ～3/25(水)	岡山県
	北	富良野 富良野市	9/5(土) ～9/7(月)	8/25 (水)	7/29 (水)	北優勝				
NPBガールズトーナメント2026	十勝	帯広市	6/27(土) ～6/28(日)	6/16 (火)	6/17 (水)	優勝	1	NPBガールズ	8/21(金) ～8/27(木)	滋賀県
第11回全日本中学女子軟式野球大 会	十勝	帯広市	6/27(土) ～6/28(日)	6/16 (火)	6/17 (水)	優勝	1	全日本中学女 子	8/20(木) ～8/26(水)	京都府
第10回全日本シニア軟式野 球大会	南	北空知 滝川市 深川市	8/22(土) ～8/23(日)	8/4 (火)	8/5 (水)	南・北 優勝	2	※ 第9回大会	5/23(土) ～5/26(火)	埼玉県
	北	根室 根室市	9/19(土) ～9/20(日)	9/8 (火)	9/9 (水)	南・北 準優勝				
<共催大会> 第47回スタルヒン杯(全道スポー ツ少年団交流大会)	旭川	旭川市	7/18(土) ～7/20(月)	未定	未定	優勝	1	全国スポー ツ少年団交流大 会	未定	岩手県

※印は、前年度決定の北海道大会代表チームが出場する全国大会

※学童、少年大会は、宿泊手配の関係から1か月前に支部名で抽選を行う。

2026(R8)年度 北海道軟式野球連盟十勝支部 事業計画

大会名	申込締切 抽 選	支部大会 期 日	道連 締切	全道大会 期 日	全道大会 場 所	支部大会 開催球場	級
令和8年度十勝支部総会	3月15日(日) 14:30～ 帯広の森市民プール会議室						
令和8年度町村連絡会議	4月5日(日) 13:30～ 明治北海道十勝オーバル2F研修室						
令和8年度十勝支部 審判講習会	5月6日(祝水) 9:00～ 座学:帯広の森コミセン 実技:帯広の森平和球場 (講習会終了後、グラウンド整備講習会あり)						
第21回丸山杯兼第55回 支部長杯大会	4月25日～ 4月27日	5/11～	監督会議及び組み合わせ抽選 5月1日(金)18:30～帯広の森市民 プール会議室		南町球場 A/B/C	A・B・C	
第46回高円宮賜杯学童野球兼全 道スポーツ少年十勝大会	4月22日 5月6日	5/9・10 5/16・17	6月9日	6/20～ 6/22	稚内支部	南町B・十勝川3 南部2・北部2	学童
第55回全道少年野球 十勝支部予選大会	4月22日 6月14日	6/20・21 7/4・5予備	7月28日	8/8～ 8/13	札幌つどーむ	十勝川3・東部2 西部2・東北部2	学童
第70回高松宮賜杯 1部支部予選大会	6月 6日 6月 7日	6/13・14	6月30日	7/11～ 7/13	十勝支部	平和球場 伏古別球場	B
第70回高松宮賜杯 2部支部予選大会	5月23日 5月24日	5/30・31	6月30日	7/11～ 7/13	十勝支部	平和球場 伏古別球場	C
第80回国民スポーツ大会 北海道ブロック予選大会	7月11日 7月12日	7/18・19 予備20	7月21日	8/1～ 8/3	網走支部	帯広の森野球場	A・B・C 有資格
第81回天皇賜杯北北海道 大会支部予選大会	6月13日 6月14日	6/21	6月23日	7/4～ 7/6	遠軽支部	平和球場 伏古別球場	A・B
NPBガールズトーナメント 2026	道連で希望集計。チーム数に よっては1日間のみ開催。		6月16日	6/27～ 6/28	十勝支部	平和球場 南町球場A・B	学童女子
第11回全日本中学女子軟式 野球大会北海道予選会	道連で希望集計。チーム数に よっては1日間のみ開催。		6月16日	6/27～ 6/28	十勝支部	伏古別球場	中学生 女子
日本スポーツマスターズ 2026軟式野球競技	6月27日 6月28日	7/4・5	7月14日	7/25～ 7/27	留萌支部	平和球場 町営球場	40歳以上 有資格
第26回北海道知事杯 支部予選大会	支部予選を行わず、国スポ予 選結果を反映。		道東未定 8月18日	道東未定 全道 8/29～31	釧路支部 苫小牧支部	平和球場 伏古別球場	A
第49回東日本1部 支部予選大会	8月8日 8月9日	8/15・16	9月1日	9/12～ 9/14	北見支部	平和球場 伏古別球場	B
第49回東日本2部 支部予選大会	8月1日 8月2日	8/8・9	9月1日	9/12～ 9/14	北見支部	平和球場 伏古別球場	C
第43回全日本少年野球	中体連にて調整		7月7日	7/18～ 7/20	紋別支部	平和球場 伏古別球場	少年
文部科学大臣杯 第18回全日本少年春季軟式野球 大会名 鉄観光トーナメント	中体連にて調整		8月25日	9/5～ 9/7	富良野支部	帯広の森野球場 平和・伏古別	少年
第10回全日本シニア軟式野球 大会支部予選大会	7月18日 7月19日	7/25・26	9月8日	9/19～ 9/20	根室支部	平和球場 伏古別球場	50歳 以上

※ 丸山杯兼支部長杯の登録・受付は4月25日(土)から27日(月)16時までに平和球場で。

※ 各大会の締め切り及び抽選は平和事務所にて14時に行う。なお国体・天皇杯・マスターズ・高松宮1部・東日本1部は代理抽選とし、決定後チームにメールで知らせる。

※ 国民スポーツ大会(監督)・マスターズ(監督orコーチ)は、JSPO公認軟式野球コーチ1等の資格保有者でなければならない。

※ 学童部の監督は、JSBB公認学童コーチ等の資格保有者でなければならない。ただし、監督が資格を保有していない場合は、同一チーム内の代表者・コーチでベンチ入りする者のうち最低1名保有していること。

※ 北海道知事杯はA級登録チームに限る。

※ 全道大会出場チームは、道連より野球ねっとを通じて届く大会参加の招待メールから申込を行う。一般は身分証明証、学童少年は大会出場同意書等、添付書類の準備を行う。

※ 朝野球は3・4位決定戦は行わず、準決勝で敗れた2チームを第3位とする。表彰は行わない。

※ 帯広電子杯朝野球大会は連盟旗杯朝野球大会終了後に実施予定。

2026 年度 市町村連盟・協会連絡会議

審判資料

- 1 支部審判講習会開催案内について
- 2 2026 年度野球規則の改正について
- 3 2026 年度競技者必携の改正について
- 4 学童一週間の投球制限導入について
- 5 学童・少年バットの使用制限について
- 6 学童・少年大会運営変更について

令和8年4月5日

市町村野球連盟・協会等会長 各位

北海道軟式野球連盟十勝支部
理事長 小川 敏也
審判部長 高島 敏彦
(公印省略)

十勝支部審判講習会の開催について

日時：令和8年5月6日(祝水)
午前9:30～午後3:00まで(受付は午前9:00から)
(点呼を取りますので10分前までにお集まり下さい。)

場所：(座学) 午前9:30～午前10:30
帯広の森コミュニティセンター
(帯広市空港南町南11線43 TEL 0155-47-3974)

(実技) 午前10:30～午後3:00
帯広の森平和球場
(帯広市南町9線37-18 TEL 0155-66-6216)
※雨天の場合、実技会場はすぱーく帯広に変更となりますので
上履きを持参してください。

※昨年11月の公認審判試験を受けた方々は、必ず参加してください。

参加料：1,000円(昼食代含む) 受付時にお支払願います。

尚、準備の都合がありますので、別紙の参加者名簿を4月17日(金)までに、以下へメールにてご連絡下さいますようお願い申し上げます。Word 書式を町村事務局に送付いたします、ご活用ください。(参加者がいない場合も「該当なし」で送付してください)

FAX 送付先 〒080-0856

北海道帯広市南町南8線46-1 帯広の森平和球場内

北海道軟式野球連盟十勝支部 事務局

FAX 0155-66-6216

E-mail tokachi.bb@gmail.com

令和8年度 審判講習会

参加者名簿

[] 連盟・協会

開催地区 十勝支部

開催日時 令和8年5月6日(祝水)

参加者 []名

No	氏名	生年月日(西暦)	年齢	公認級	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

4月17日(金)までに提出してください。事務局:tokachi.bb@gmail.com

全軟野連発第 223 号

令和 7 年 10 月 24 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
専務理事 小山 吉男



学童部における一週間に係る投球数制限の導入について(通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、令和 7 年 4 月 11 日開催の第 2 回理事会において学童部の一週間に係る投球数制限の導入について、令和 8 年度(2026 年)シーズンより行うことが決定しましたので下記および別紙の通り通知いたします。

なお、決定から通知までにお時間を要したことにお詫び申し上げます。
何卒よろしくお願い致します。

記

【概要】

■内 容:学童部(小学生)は、従来の 1 日 70 球以内(4 年生以下は 60 球以内)に加えて、
1 週間の投球数を 210 球以内(4 年生以下は 180 球以内)とする。

■導入時期:2026 年シーズンより導入する。

【添付資料】

■学童部(小学生)の投球数制限改定内容について

以上

事務担当者:清野 祐 TEL:03-3404-8831

学童部の投球数制限について 改定内容

■競技者必携

競技に関する連盟 特別規則	現行	改定案
《学童部(女子共)》 7 学童部の投球数 制限について	【学童部(女子共)】 ① 1 試合かつ 1 日の投球数は 70 球以内。なお、4 年生以下が 投手として出場した場合の投球数制限は学年で判断する。 (4 年生以下は 60 球以内) ② 特別継続試合で投球できる球数は、もとの試合で投じた球数 を引き継ぎ、残りの球数だけとする。 ③ 特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試 合において 1 日の投球数制限を超えない範囲で登板できる。	【学童部(女子共)】 ① 1 試合かつ 1 日の投球数は 70 球以内。なお、4 年生以下が 投手として出場した場合の投球数制限は学年で判断する。 (4 年生以下は 60 球以内) ② 特別継続試合で投球できる球数は、もとの試合で投じた球数 を引き継ぎ、残りの球数だけとする。 ③ 特別継続試合に勝利したチームの投手は、同日に行われる試 合において 1 日の投球数制限を超えない範囲で登板できる。 ④ 1 週間 210 球以内(4 年生以下は 180 球以内)

以上

2025年11月20日

2026年度 野球規則改正

日本野球規則委員会

I. 2025年 米国オフィシャル・ベースボール・ルールの改正に伴う規則改正

(1) 5.02(c) を次のように改める。

① (i) の「投球動作および」を削除する。

② (ii) を次のように改める。(下線部を改正)

投手が打者に対して投球のためにボールが手から離れたとき、4人の内野手のうち、2人ずつは二塁ベースの両側に分かれて、両足を位置した側に置いていなければならない。

③ ペナルティ前段を次のように改める。

本項に違反した内野手が、投球後最初にボールを触れた場合、打者はアウトにされるおそれなく、安全に一塁が与えられ、各走者もアウトにされるおそれなく、1個の塁が与えられる。ただし、打者が安打、失策、その他で一塁に達し、しかも他の全走者が少なくとも1個の塁を進んだときには、規則違反とは関係なく、プレイは続けられる。

本項に違反した内野手が、投球後最初にボールを触れた内野手でなければ、投手の投球にはボールが宣告され、ボールデッドとなる。

④ 【ペナルティ原注】を追加する。

【ペナルティ原注】本項のペナルティが宣告されてもプレイが続けられたときは、そのプレイが終わってからこれを生かしたいと監督が申し出るかもしれないから、球審はそのプレイを継続させる。打者走者が一塁を空過したり、走者が次塁を空過しても、[5.06b3 付記]に規定されているように、塁に到達したものとみなされる。

II. 米国オフィシャル・ベースボール・ルールズとの比較検討により再確認した項目の改正

(主にこれまで不記載としていた項目の追記および文章の修正)

(2) 5. 06 (c) (7) 【原注】の最終段落に次を追加する。

野手が、走者をだます目的で意図的にボールをユニフォームの中（たとえばズボンのポケットなど）に隠した場合、審判員は“タイム”を宣告して、すべての走者に、そのような行為を行なった瞬間にすでに占有していたと審判員が判断した塁から少なくとも1個の塁を与える。

(3) 5. 07 (a) (1) を次のように改める。

① ①の冒頭を次のように改める。(下線部を改正)

打者への投球に関連する動作を起こしたならば、中断したり、変更したりしないで、その投球を完了しなければならない。

② 【注】を次のように改める。(下線部を改正)

投手が投球に関連する動作を起こして、身体の前方で両手を合わせたら、打者に投球すること以外は許されない。したがって、走者をアウトにしようとして塁に踏み出して送球することも、投手板を外すこともできない。違反すればバークとなる。

(4) 5. 07 (a) (2) を次のように改める。

① ②の冒頭を次のように改める(下線部を改正)とともに、「(ストレッチとは、腕を頭上または身体の前方に伸ばす行為をいう)」を削除する。

打者への投球に関連する動作を起こしたならば、中断したり、変更したりしないで、その投球を完了しなければならない。

② 【注1】を次のように改める。(下線部を改正)

(1) (2) 項でいう“中断”とは、投手が投球に関連する動作を起こしてから途中でやめてしまったり、一時停止したりすることであり、“変更”とは、ワインドアップポジションからセットポジション（または、その逆）に移行したり、投球動作から塁への送球（け

ん制) 動作に変更することである。

③ 【原注】の最終段落に次を追加するとともに、【注6】、【注7】を追加する。

ただし、打者が打席に入る前に、投手がwindアップポジションで投球する旨を審判員に伝えた場合には、前述のような投球姿勢であったとしても、windアップポジションとして投球することができる。

投手は、打者が打撃中であっても、(i)攻撃側チームにプレーヤーの交代があったとき、または(ii)走者の位置が変わったときは、次の投球を行なう前であれば、審判員にwindアップポジションで投球する旨を伝えることができる。

【注6】windアップポジションとして投球する旨を審判員に伝えた後であっても、攻撃側チームのプレーヤーが交代したり、走者の位置が変われば、セットポジションに戻ることができる。

【注7】アマチュア野球では、セットポジションに戻すときも、審判員にセットポジションで投球する旨を伝えなければならない。

(5) 5.07(d)を次のように改める。(下線部を改正)

投手が、ストレッチを起こしてからでも、打者への投球動作を起こすまでなら、いつでも塁に送球することができるが、それに先立って、送球しようとする塁の方向へ、直接踏み出すことが必要である。

(6) 5.09(b)(7)を次のように改める。

① 本文を次のように改める。(下線部を追加)

走者が、1人の内野手の股間または側方を通過する前で、さらに他の内野手が守備する機会がない状態のフェアボールに、フェア地域で触れた場合。(5.06c6、6.01a11 参照)

この際はボールデッドとなり、打者が走者となったために次塁への進塁が許された走者のほかは、得点することも、進塁することも認められない。

インフィールドフライと宣告された打球が、内野手を通過する前で、さらに他のいずれの内野手も守備する機会がないと判断される前に塁から離れている走者に触れたときは、打者、走者ともにアウトになる。

- ② 【注2】を次のように改め（下線部を改正）、【注3】を削除し、【注4】以下を繰り上げる。

塁に触れて反転したフェアボールに走者が触れた場合、フェア地域またはファウル地域に関係なく、その走者はアウトになり、ボールデッドとなる。

- (7) 【5. 100 原注】の第5段落として次を追加する。

監督またはコーチがマウンドに行った際、投手が他の守備位置に移ったかどうかに関係なく、そのイニングでその投手のもとへ1度行ったことになる。

- (8) 6. 01 (a) (8) を次のように改める。（下線部を改正）

三塁または一塁のベースコーチが、走者に触れるか、またはつかんだりして、走者の三塁または一塁への帰塁、あるいはそれらの離塁をアシストしたと審判員が認めた場合。

- (9) 6. 01 (h) 【付記】を次のように改め（下線部を改正）、末尾に【6.01h 原注】として「定義50 オブストラクション【原注】」を移行する。

捕手はボールを持たないで、得点しようとしている走者の進路をふさぐ権利はない。塁線（ベースライン）は走者の走路であるから、捕手は、ボールを処理しようとしているときか、すでにボールを持っているときだけしか、塁線上に位置することができない。

- (10) 6. 02 (a) (1) を次のように改める。（下線部を改正）

投手板に触れている投手が、投球に関連する動作を起こしながら、中断したり、変更したりして投球を完了しなかった場合。

Ⅲ. その他、日本野球規則委員会で協議した項目の改正

(「プロ野球・プロフェッショナルリーグ」表現の削除、修正。【注】の追加、修正等)

(11) 3. 0 2 (a) を次のように改める。

① 【付記】の「プロフェッショナル野球（公式試合および非公式試合）」を削除する。

② 【注1】を次のように改める。(下線部を改正)

NPBでは、金属製バット、木片の接合バットおよび竹の接合バットは、コミッショナーの許可があるまで使用できない。

③ 【注2】を次のように改める。(下線部を改正)

アマチュア野球では、使用できるバットについては、所属する団体の規定に従う。

(12) 3. 0 2 (d) を次のように改める。

① (d) 着色バットは、規則委員会の認可がなければ使用できない。

② 【注1】、【注2】を統合し、次のように改める。

【注】我が国では、所属する団体の規定に従う。

③ 【3. 0 2注】を追加する。

【3. 0 2注】我が国では、本項(a)、(b)および(d)または各所属団体の規定に違反しているバットは試合から取り除かれ、そのバットを使用した場合は(c)〔付記〕および同〔原注〕後段を適用する。なお 6.03(a)(5)規定のいわゆる改造バットについては、同項記載のとおりである。

(13) 3. 0 3 (j) 【注1】を次のように改める。(下線部を改正)

【注1】NPBでは、本項を適用しない。

(14) 3. 08 本文の「プロフェッショナルリーグでは、」と (b) の「メジャーリーグの」を削除する。

(15) 3. 09 本文の「本条は、プロフェッショナルリーグだけに適用される。」と、【付記】の「プロフェッショナルリーグ用の」と「プロ野球」を削除し、【注4】を次のように改める。

【注4】我が国では、所属する団体の規定に従う。

(16) 4. 03 (e) に【注】を追加する。

【注】我が国では、天候状況によっては、30分を待つことなく試合を打ち切ることができる。

(17) 5. 08 (b) 【注】の最終段落を次のように改める。(下線部を改正)

打者走者または三塁走者が進塁に際して塁に触れ損ねた場合は、守備側のアピールがあったときだけ、審判員はアウトの宣告を下す。

(18) 5. 10 (e) に【注】を追加する。

【注】アマチュア野球では、所属する団体の規定に従う。

(19) 5. 10 (g) (2) に【注】を追加する。

【注】我が国では、本項にある「イニングの初めに準備投球を行なった投手」を「イニングの初めに投手が、ファウルラインを越えてしまえば」と置きかえて適用する。

(20) 5. 10 (k) 【注2】を次のように改める。

【注2】我が国では、ベンチあるいはダッグアウトに入ることのできる者については、所属する団体の規定に従う。

(21) 5. 10 (1) 冒頭の「プロフェッショナルリーグは、」を削除する。

(22) 【7. 0 2注】を次のように改める。

【7. 0 2注1】NPBでは、本項を適用しない。

【7. 0 2注2】アマチュア野球では、所属する団体の規定に従う。

(23) 8. 0 1 (b) を次のように改める。(下線部を改正)

各審判員は、所属する団体の代表者であり、本規則を厳格に適用する権限を持つとともに、その責にも任ずる。審判員は、プレーヤー、コーチ、監督のみならず、クラブ役員、従業員でも、本規則の施行上、必要があるときには、その所定の任務を行なわせ、支障のあるときには、その行動を差し控えさせることを命じる権限と、規則違反があれば、規定のペナルティを科す権限とを持つ。

(24) 【9. 2 2注】を次のように改める。(下線部を改正)

NPBでは、“組まれている試合総数”を“行なった試合数”に、“マイナーリーグ”を“ファーム・リーグ”に置きかえて適用する。数の算出にあたり、端数は本条(a)(b)各〔原注〕に準ずる。

(25) 定義38(2)の「リターン」を削除する。

(26) 定義64の「RETURN」と「リターン」を削除する。

(27) 次の項目の「打者」の表記を「打者走者」に改める。

5. 0 6 (b)(4)(G) 【規則説明】

5. 0 6 (b)(4)(I)の4行目

5. 0 8 (b)の4行目

5. 0 9 (b)(1)(2) 【原注】 1つ目の例の3行目

5. 0 9 (b)(6) 【原注】 の5行目と8行目

5. 0 9 (c)(2) 【原注】 2つ目の例の2行目

9. 0 5 (b)(4)

9. 1 2 (f)(1)①

定義28「フィールダースチョイス」

定義30「フォースプレイ」【原注】 1つ目の例の2行目と6行目

以 上

全軟野連発第 268 号

令和 7 年 12 月 15 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟
専務理事 小山吉男



2029 年以降の少年部(学童・少年)バット使用制限について (通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、本連盟では、2025 年より学童部による一般用の打球部に弾性体を取り付けたバットの使用制限を導入いたしました。その後の段階的な措置として、2029 年以降より更なる「選手の安全面を考慮」することを目的に、少年部(学童・少年)における外表面上に弾性体(ウレタン・スポンジ等)を取り付けたバットの使用を全面禁止することを令和 7 年 11 月 5 日の第 4 回理事会で決定しましたので、下記のとおり通知いたします。

なお、2028 年シーズン終了までは移行期間とするため、現行ルールのまま大会運営を実施していただきますようお願い致します。

以上、何卒よろしくお願い致します。

記

■少年部(学童・少年)のバットの使用制限について

導入年：2029 年より導入 ※(2026 年～2028 年シーズン終了までは移行期間)

内 容：選手の安全面を考慮し、バット外表面にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けた一般用および小学生軟式用のいずれのバットの使用を禁止する。
よって、2029 年以降に使用できるバットは、木製・金属製・カーボン製・複合(金属/カーボン)となる。

■使用制限の内容および今後のスケジュールについて

別紙資料参照

以上

事務担当者：吉岡、清野 Tel：03-3404-8831

2029年以降のバット使用制限について

【別紙資料】

■ 2029年以降の使用制限

時期	内容
2025年～	2025年より、安全面を考慮し学童部では、一般用バットのうち打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止としているが、 2029年より、学童部においては小学生軟式用も使用禁止とし、少年部においても外表面にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。 なお、上記以外のバット(木製・金属製・カーボン製・複合(金属/カーボン))については、使用制限を行わない。


■ 全軟連の考え方

- ✓ **学童部・少年部における外表面に弾性体を取り付けたバットの使用制限を行う**
- ✓ 将来的に、小学生軟式用バットの基準(長さ、重量、太さ、反発)設置に向けて継続的に検討を行う
- ✓ 一般部(大人)は、特別な使用制限は行わない

■ 導入理由について

- ✓ **学童・少年部競技者の安全面に万全を期すため**

■ 今後の使用制限導入スケジュール

内容		2025	2026	2027	2028	2029
学童部 (小学生)	① 一般用 弾性体取り付けバット制限 【2025より導入。2028年まで継続実施】					使用制限 導入
	② 小学生軟式用 弾性体取り付けバット制限 【2029より導入】	機関決定	移行期間			
少年部 (中学生)	③ 弾性体取り付けバット制限 【2029より導入】	機関決定	移行期間			使用制限 導入

(補足)

- * 学童部(小学生)では、引き続き一般用バットの打球部にウレタン、スポンジ等を取り付けたバットの使用は禁止であり、2029年からは更に小学生軟式用の弾性体取り付けバットの使用を全面禁止とする。(一般用・小学生軟式用共に禁止)
- * 少年部(中学生)では、2029年の③の導入により弾性体取り付けバットの使用を全面禁止とする。

全軟野連発第 13 号

令和 8 年 1 月 23 日

都道府県支部
理事長 様

公益財団法人 全日本軟式野球連盟

専務理事 小山 吉男



2026 年以降の学童部・少年部の大会運営に係る変更について(通知)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、令和 7 年 12 月 5 日開催の第 4 回理事会において、2026 年以降の学童部・少年部の大会運営に係る変更点について承認を得ました。つきましては、別紙資料に記載の各項目および対象、導入時期をご確認頂きまして、登録チームへの周知・徹底を図るようお願い致します。

何卒宜しくお願い致します。

記

【概要】

■内 容:2026 年以降の学童部・少年部の大会運営に係る変更点について

- ・試合における選手アナウンスでの敬称略。(対象:学童・少年) ※導入:2026 年～
- ・試合時間の見直し。(対象:少年) ※導入:2027 年～
- ・同一試合での投手と捕手の兼任禁止。(対象:学童) ※導入:2027 年～

■添付資料:2026 年以降の学童部・少年部の大会運営に係る変更点について(一覧)

以上

事務担当者:清野 祐 Tel:03-3404-8831

2026年以降の大会運営に係る変更点について(一覧)

No,	カテゴリー	項目	内容	導入時期
1	少年部 (学童・少年)	少年部における敬称略について	試合中の選手アナウンスは、全て敬称略とする。 ※「くん」・「さん」の廃止。	2026年(令和8年)から導入
2	少年	試合時間の見直し	健康面を考慮し、試合時間を2時間とする。 ※ 旧) 2時間30分 ⇒ 新)2時間	2027年(令和9年)から導入
3	学童	同一試合での投手と捕手の兼任 禁止	投手にかかる肘肩の負担は大きいことは明白であるが、同様に捕手も肘肩への負担が大きいポジションの一つであることを考慮し、同一試合中において投手と捕手の兼任を禁止する。 【適用ルール】 障害予防により、投手または捕手で出場した選手は、同一試合中において、投手が捕手につくことや捕手が投手につくことを禁止する。但し、他の守備位置につくことはできる。 なお、投手が捕手以外の守備位置につき、再び投手に戻ることはできる。捕手も同様に投手以外の守備位置についてから再び捕手に戻ることはできる。	2027年(令和9年)から導入

2026年 競技者必携改訂について（訂正版）

技術委員会

（ ）は2026年 競技者必携掲載頁

1. 投手の12秒及び20秒ルールの運用基準（9頁、10頁）

1. 12秒及び20秒ルール

投手は、走者がいない場合には12秒以内、走者がいる場合には20秒以内に投球に関連する動作~~「投球動作」~~を開始しなければならない。

規則適用上の解釈(9)(69P参照)

※掲載内容の一部に表現の不備があったため、以下の通り訂正します。

誤) 「投球に関連する動作」 → 正) 「**投球動作**」

4. 20秒ルールの適用

C) ボールインプレイの状態、打者がバッタースボックス内で打者に面したとき。(削除)

2. 試合のスピード化・マナーに関する確認事項（15頁、16頁）

4) 打者

②打者はみだりに・・・(サインは必ず打者席内で見ること)。

アマチュア野球内規 ②バッタースボックスルール (88P参照)を理解し、これを実行すること。(追加)

④四球の走者が保護具(レッグガード、エルボーガード、その他)を外すときには、本塁周辺で外し一塁へ向かうこと(ヒットバイピッチの時も同様とする)。(新規)

3. シートノックの(5)を削除し、サイドノックの実施について新規に掲載(本文参照)(35頁、43頁)

4. 15 打者が頭部に・・・できる。(36頁)

臨時代走者は、・・・9人の中から打順の前位の者を代走者と認めて試合を進行する(ただし投手及び投手兼任のDHを除く)。

5. 競技に関する連盟特別規則の2 延長戦(2)上記以外の連盟が主催する大会を、(2)高松宮賜杯大会、東・西日本1部2部大会、(3)中部日本大会、東・西日本選手権大会にそれぞれ分けて掲載(本文参照)(39頁)

6. 学童部、少年部、女子大会における監督、コーチの年齢を 20 歳以上から 18 歳以上へ変更。
(42 頁)
7. 学童部（女子共）並びに少年部（女子共）の 6 監督がグラウンドに出て指示することができるという箇所を削除。(2025 年 43 頁、48 頁)
8. 学童部並びに少年部の投球数制限について (48 頁、49 頁、53 頁)
 - 【学童部（女子共）】
 - ④ 1 週間の投球数は 210 球以内とする（4 年生以下は 180 球以内）。・・・(新規)
 - 【少年部（女子共）】
 - ④ 1 週間の投球数は 350 球以内とする。なお、投球数のカウントは、該当期間中の試合における実際の投球数の累計によって行う。(追加)
 - 【投球数管理運用】
 - ③ 12 秒または 20 秒が経過し、タイムが宣告されたにもかかわらず、投球した場合は投球数に入れる。(新規)
9. 試合中の禁止事項 (57 頁、58 頁)
 - 1 競技前、中、後を問わず、相手側プレーヤーや審判員に手をかけたり、暴言を吐いたり、侮辱する言動を厳禁する。(変更)
 - 3 競技場内・・・〈中略〉ことを禁止する。また、喫煙可能な場所であっても、ユニフォームを着用しての喫煙は禁止とする。(新規)
 - 5 投手が手首や・・・〈中略〉。なお、負傷等の応急処置として、テーピングなどの使用を認めることがある。この場合、担当審判員の許可を得ることとする。但し、投球に影響を与えるものを直接ボールに触れる箇所には使用できない。(変更)
- 9 プレイを利用して相手選手を欺く行為に例①②を (追加) (本文参照)
10. 試合のスピード化に関する事項 (59 頁、61 頁)
 - 1 守備側のタイムの回数制限
 - (1) 監督またはコーチ等が 1 試合に・・・〈中略〉。この際、投手（内野手含む）にペットボトルやタオルを持参することができる。ただし、選手を帯同させることはできない。(追加)
- 10 打者について
 - (1) 打者は、アマチュア野球内規 ②バッタースボックスルール (88P) を理解し、これを実行すること。(新規)
 - (3) 打者がたとえば判定に不服で、あるいは攻撃側のサイン交換が異常に長くて、球審の督促にもかかわらず、なかなかバッタースボックス内で打撃姿勢をとろうとしなかった場合、球審は投手に投球を命じることなく自動的にストライクを宣告する。この場合は・・・〈中略〉。(変更)

11. 用具・装具に関する事項（64 頁）

7 アイブラック（アイパッチ）の使用を認める。（新規）

12. 規則適用上の解釈（69 頁、73 頁、74 頁、76 頁）

(9) 投手の投球当時とは、投手が打者への投球に関連する動作投球動作を起こしたときをいう。

セットポジションの際の“ストレッチ（準備動作）”は投球に関連する動作投球動作とはみなさない。（野球審判員マニュアル 第 5 版 57P 参照）

※掲載内容の一部に表現の不備があったため、以下の通り訂正します。

誤) 「投球に関連する動作」 → 正) **「投球動作」**

(28) 投球の義務（規則 5.10(g)(i)関連）【先発投手】【救援投手】【継続中の投手】に分けて掲載した。（本文参照）

(33) 試合に出ているプレーヤーの代走（臨時代走）が認められる場合

(1) (2) 投手及び投手兼任の DHを除いた・・・

13. アマチュア野球内規（2026 年）（87 頁）

③ Windアップポジションの投手及び⑬正式試合となる回数を削除。

14. 質疑応答（119 頁、123 頁、141 頁、171 頁）

62 答 走者をアウトにしようとして一連の動作で右投手が三塁（左投手が一塁）へ振り向き、踏み出して送球することは正規の動きであるので差し支えない。（5.07a (1) 【原注 2】 ②）

78 答 Windアップポジションでもセットポジションでも、投球に関連する動作投球動作を起こす前なら、投手板に触れたまま、走者のいる塁に送球しても差し支えない。（5.07a (1) 【原注 2】 ②） 5.07d、6.02a (1)(4))

※掲載内容の一部に表現の不備があったため、以下の通り訂正します。

誤) 「投球に関連する動作」 → 正) **「投球動作」**

146 答 フェア地域またはファウル地域に関係なく走者はアウトになる。（5.09b (7) 【注 2】

69 答 ボークではない。しかし、投手が自由な足を踏み出さずに、対面する塁へけん制球を投げるとき、外した軸足が再び投手板につけばボークとなる。（5.07 (a)(2) 【注 5】

15. 審判上の取り決め事項ならびに注意すべき規則（217 頁、220 頁、224 頁、225 頁）

1、宣告の取り決めの 1 と 2 を削除。

8、ハーフスイングの際の、チェックスイングの要請

なお、バントは定義上スイングではない、となっているが、アマチュア野球（軟式野球）

では、バントのときでもハーフスイングのときと同様、球審は塁審にアドバイスを求めることができる。(追加)

15. 正しい投球姿勢の徹底

4 セットポジションから投球する投手は、・・・〈中略〉。その保持に際しては、身体の前
面ならどこで保持してもよいが、同一打者のときは同じ位置でなければならない。た
だし、打者によって止める位置を変えることは構わない。(追加)

20. 投球姿勢（ハイブリッドポジション）及び申告に対するサインについて（新規）

塁に走者がいるときに、投手が投手板に軸足を並行に触れ、自由な足を投手板の前方に置いた場合、その投球姿勢はセットポジションとみなされる。

ただし、**打者が打席に入る前に、投手が「windアップで投球する」旨を審判員に申告した場合は**、前述の投球姿勢であったとしても**windアップポジションとして投球することができる。**(5.07(a)(2)②【原注】、【注6】、【注7】)

【球審のサイン】

① セットポジション → ハイブリッド姿勢によるwindアップポジションへの申告があった場合、球審は、「**両手を身体前面で合わせ、頭頂部へ振りかぶる動作**」をジェスチャーで示す。

② ハイブリッド姿勢によるwindアップポジション → セットポジションへ戻す申告があった場合、球審は、「**両手を身体前面で合わせ、そのまま保持する姿勢**」をジェスチャーで示す。

※上記のジェスチャーが球審の基本サインであるが、必要に応じて言葉を添えて示しても良い。

16. 審判員の構え、判定と宣告、ジェスチャー（227頁）

審判員は、すべてのプレイを見たままに正確に判定して、宣告する義務があります。そのため、「審判メカニクス・ハンドブック」に基づき、アマチュア野球規則委員会が各種資料を発行していますので、審判技術の向上に活用して下さい。

よって、競技者必携の試合の開始から試合の再開までの掲載を削除します。

17. 試合の開始～試合の再開を削除 2025年版（224頁～245頁）

18. 試合の終了（229頁）

○宣告用語「礼」

○宣 告

②球審の合図により全員脱帽をして、相互に礼を交わす。

19. 表記を改めた項目

打者 → 打者走者

投球動作 → 投球に関連する動作 → 投球動作

※掲載内容の一部に表現の不備があったため、以下の通り訂正します。

誤) 「投球に関連する動作」 → 正) 「**投球動作**」

肉体的援助 → アシスト

20. 本文の必ずと表記しているところを連盟規程細則にならい削除した。(35 頁、43 頁、64 頁)

21. 審判員に関する取り決め事項 4 の必ず、を削除する事に伴い文章を見直した。(215 頁)

4 試合開始前に担当審判員（控え審判員を含む）は相互のコミュニケーションを深めるために、決まりごと等の打ち合わせを行い、試合が終わったらアフターミーティングを行う。

以上

学童野球 支部予選大会日程

* 高円宮賜杯第46回全日本学童軟式野球大会 兼 第47回スタルヒン杯全道スポーツ少年団交流大会 十勝支部予選

- 1 全道大会 優勝 高円宮賜杯北・北海道大会（稚内支部）6/20～22
準優勝 スタルヒン杯全道スポーツ少年団（旭川市）7/19～21
第3位 2026 ファイターズベースボールチャンピオンシップU12
8/3～5（エスコンフィールド北海道）
第4位 ホクレン旗争杯北海道退会 第1代表（札幌市）7/25～28

※なお、上記4チームは後に行われる全道少年十勝支部予選大会には重複して出場することはできない。

- 2 参加資格 十勝管内各小学校に在籍する者で、チーム全員がスポーツ障害保険又は、これに類する保険に加入していること。
全日本軟式野球連盟登録でスポーツ少年団に加入しているチーム。
- 3 大会日程 ブロック大会 令和8年5月9日(土)・10日(日) 予備日16日(土)
支部代表決定戦 令和8年5月16日(土) 予備日17日(日)
(支部代表決定戦はブロック優勝チームとする)
- 4 大会会場 帯広市2ブロック4会場 南部1ブロック2会場 北部1ブロック2会場
支部代表決定戦 帯広市
※チーム数によって会場数の変更あり。
- 5 開会式 実施しない
- 6 監督会議 令和8年5月6日(祝水) 16:00～
場所 帯広の森コミセン（帯広市空港南町南11線43）
- 7 参加費 大会参加費10,000円 加盟登録料6,000円
・監督会議の際、選手名簿1部・加盟登録書1部を提出してください。
・なお、登録人数は大会参加選手名簿が10名以上25名以下、加盟登録書が10名以上30名以下です。

*第55回全道少年軟式野球大会 十勝支部予選

- 1 全道大会 優勝 第55回全道少年軟式野球大会（札幌市）8/8～13
※チーム宿舎指定あり。
準優勝 ホクレン旗争杯北海道退会 第2代表（札幌市）7/25～28
第3・4位 道東ブロック交流大会（釧路市・厚岸町）日程未定
- 2 参加資格 十勝管内各小学校に在籍する者で、チーム全員がスポーツ障害保険又は、これに類する保険に加入していること。
全日本軟式野球連盟登録でスポーツ少年団に加入しているチーム。
- 3 大会日程 令和8年6月20日（土）・21日（日） 予備日7月4日（土）
支部代表決定戦 令和8年7月4日（土） 予備日5日（日）
- 4 大会会場 帯広市2 南部地区2 北部地区2 東北部地区1
支部代表決定戦 帯広市
※チーム数によって会場数の変更あり。
- 5 開会式 実施しない
- 6 監督会議 令和8年6月14日（日） 15：00～
場所 帯広の森球場会議室（帯広市南町南7線56-7）
- 7 参加費 大会参加費10,000円
・監督会議の際、大会参加選手名簿1部を添えてお支払いください。
・なお、登録人数は10名以上、25名以下です。

※加盟要録用紙、2大会の参加申込書は支部HPよりダウンロードできます。

高円宮賜杯(マクドナルド)・全道少年野球大会 支部予選大会持ち回り表

東部(幕別・池田・豊頃・浦幌) 西部(芽室・清水・鹿追) 南部(大樹・広尾・中札内・更別) 北部(音更・士幌) 東北部(本別・足寄)

年度	(令)	高円宮賜杯全日本学童野球大会(8会場)				全道少年野球大会(8会場)			
2021	3	帯広市2	帯広市2	東部2(幕・池)	西部2(清・新)	帯広市2	南部2(大・広)	北部2(士幌)	東北部2(本別2)
2022	4	帯広市2	帯広市2	南部2	北部2	帯広市2	東部2	西部2	東北部2
2023	5	帯広市2	帯広市2	東部2	西部2	帯広市2	南部2	北部2	東北部2
2024	6	帯広市2	帯広市2	南部2	北部2	帯広市2	東部2	西部2	東北部2
2025	7	帯広市2	帯広市2	東部2	西部2	帯広市2	南部2	北部2	東北部2
2026	8	帯広市2	帯広市2	南部2	北部2	帯広市2	東部2	西部2	東北部2
2027	9	帯広市2	帯広市2	東部2	西部2	帯広市2	南部2	北部2	東北部2
2028	10	帯広市2	帯広市2	南部2	北部2	帯広市2	東部2	西部2	東北部2
2029	11	帯広市2	帯広市2	東部2	西部2	帯広市2	南部2	北部2	東北部2
2030	12	帯広市2	帯広市2	南部2	北部2	帯広市2	東部2	西部2	東北部2
2031	13	帯広市2	帯広市2	東部2	西部2	帯広市2	南部2	北部2	東北部2

*会場は地方大会も含め各ブロックで決定する。